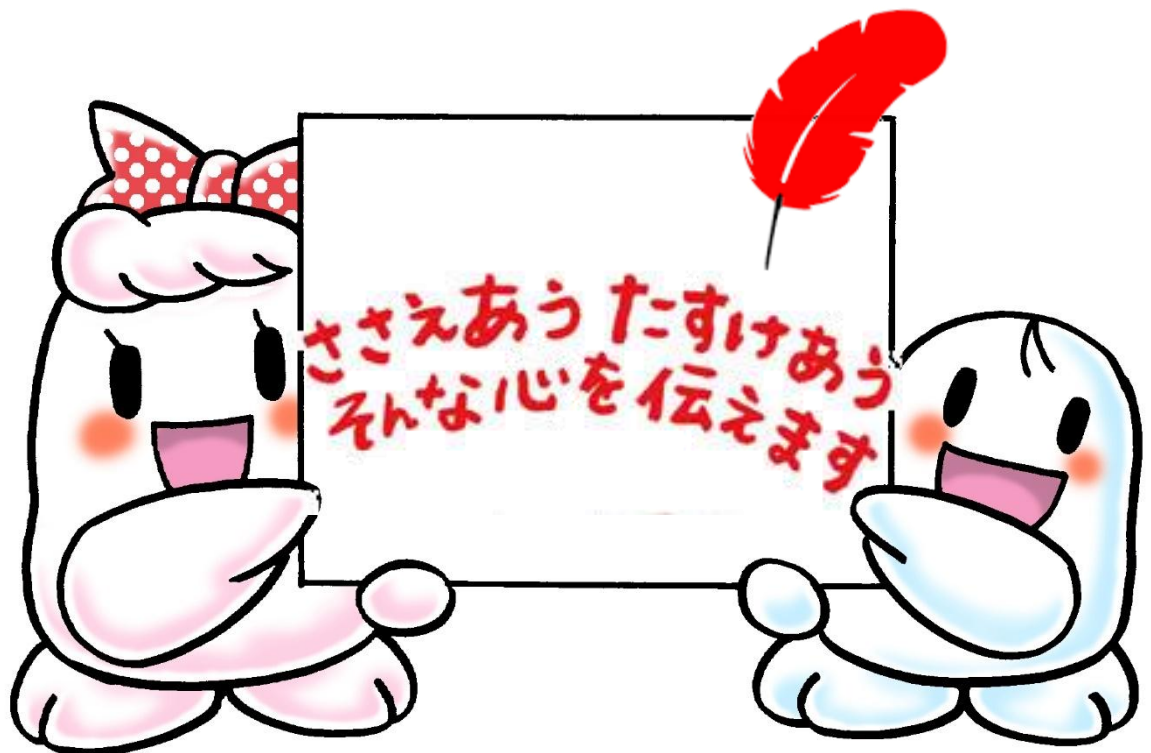


令和 6 年度（令和 5 年度募金）

隠岐の島町共同募金委員会

助成事業報告書



令和 7 年 6 月

島根県共同募金会 隠岐の島町共同募金委員会

住みよい地域づくり推進プロジェクト助成 事業一覧

実施団体	助成区分	団体名	事業名	頁
隠岐の島町共同募金委員会	安心づくり助成	① 西郷中町町内会連合会	子供防災町内巡回	1
		② 岬町区	向う三軒両隣事業	2
		③ 有木ほたる村	冬のほたる（イルミネーション点灯）	3
		④ 布施イルミネーション実行委員会	布施イルミネーション&点灯式	4
		⑤ 山田どっこい会	地域ふれあい推進事業	5
		⑥ 南方自治会	南方区防災計画	6
		⑦ 青年学級交流会	青年学級交流事業	7
		⑧ 島根県断酒新生会 隠岐支部	酒害者支援・予防事業	8
		⑨ 隠岐地区里母のつどい	勉強会・交流会	9
		⑩ 緩和ケアサロン隠岐たんぽぽ	がん体験者とその家族の交流	10
		⑪ いその香	配食を通じたつながり活動	11
		⑫ 隠岐の島町婦人会	地域の居場所「みんなの食堂」の開催	12
	交流づくり助成			13
	ふれあいサロン助成			14
	社会福祉協議会助成			15

※報告書内 自己評価・・・事業を実施した団体の自己評価

【目標以上の成果 / 目標どおりの成果 / 目標どおりの成果を得られなかった】

団体名	西郷中町町内会連合会	事業名	地域防災活動
実施内容	実施期間：令和6年6月2日、11月17日 実施場所：中町自治会区内 実施内容： ①前期訓練（6月）：防災会班員を中心に、災害時要支援者宅の確認と支援の手順を確認した。また、災害時危険個所と避難経路の確認を行った。 ②後期訓練（11月）：火災発生時、迅速な初期消火活動が円滑にできるように、少人数でホースの展張や器具の操作法について確認した。2度の訓練を通して、災害現場でのリーダー育成を目的として実施した。   ▲防災活動の様子		
実施してよかった点や課題点	・いずれの訓練においても、ハンズフリーの拡声器を使用することで有効に説明や指示を行うことができた。要支援者に対する意識の醸成につながり、また初期消火の重要性を確認することで、安心安全な地域づくりにつながった。	助成額	50,000円
		延べ参加者数	45名
		自己評価	目標どおりの成果
ありがとうメッセージ	毎年繰り返し行っている防災訓練ですがこれにより、地域住民のつながりと防災意識や知識が深まっています。ただ毎年継続して行わないとすぐに忘失してしまいます。今後とも共同募金にご協力をお願いいたします。ありがとうございました。		

団体名	岬町区	事業名	向う三軒両隣事業
実施内容	実施期間：令和6年4月～令和7年3月 実施場所：岬町地区内 実施内容： ①評議員と小组長には常に独居者や独居高齢者宅の見回り声掛けを実施するよう義務付けている。時々、不在ではあるが島外に出ているとかの報告は受けている。 ②居住地区、幹線道路の草刈りは年間数回にわたり住民ボランティアで岬町区の事業として毎年実施している。 ③隠岐の伝統文化衰退を防ごうとして、盆踊り、敬老会、運動会を実施し、区民の親睦交流を行っている。 ④個別活動として、「釣り大会」「しゃべらあ会」「笑和輪の歌囲」などで区内の情報交換を行っている。		
	  ▲ 幹線道路の草刈り		
実施してよかった点や課題点	・ 諸々の交流事業を通じることによって、島外からの移住者が多い岬町には必要な事業である事を皆が認識していて積極的に協力している。一方、他地区からの若い住民の増加により協力に欠ける事もあり、今後の課題である。		助成額
			50,000円
			延べ参加者数
ありがとうメッセージ	多くの事業を実施している岬町区としては区民の「区費」だけでは賄いきれず、草刈りの一作業を町の委託として作業費を稼いでいるが苦勞しています。共同募金寄付を頂いて大いに助かっております。ありがとうございました。		自己評価
			目標どおりの成果

団体名	有木ほたる村	事業名	冬のほたる（イルミネーション点灯）
実施内容	実施期間：令和6年12月1日～令和7年1月4日 実施場所：有木地区 実施内容： ①11月の区役員会にチラシの全戸配布をお願い。 ②イルミネーションを取り付け希望の高齢者宅と取り付けてほしい高齢者宅に話やお願いに行く。 ③イルミネーション取り付けを手伝ってしい宅へ取り付けの手伝いに行く。 ④点灯後はイルミネーションやタイマー等のチェックをして回り、改善してあげる。 ⑤点灯後に訪問し、対話と交流を深める。   ▲高齢者の方とイルミネーションを設置 ▲作成したチラシ		
実施してよかった点や課題点	・冬の風物詩となり、多くの方が待っている。 ・普段地域と交わりの少ない高齢者が、皆と一緒に活動することで地域の中での存在感や生きがいを感じてくれる。 ・高齢化が進み、取り付けの手伝い希望宅が増えてきた。	助成額	
		50,000円	
		延べ参加者数	
		45名	
ありがとうメッセージ	当活動もまもなく20年になり、毎年多くの方に協力を頂いており、高齢者も参加することで地域の中での存在感や生きがいを感じてくれています。 安心づくり助成には沢山助けられ、沢山の喜びを頂きました。	自己評価	
		目標どおりの成果	

団体名	布施イルミネーション実行委員会	事業名	布施イルミネーション&点灯式
実施内容	実施期間：令和6年2月14日～令和7年1月12日 実施場所：布施公民館、布施町民運動場 実施内容： ①地域有志で集まった実行委員会メンバーにより、公民館、自治会とも協力し、打ち合わせ（6名）、イルミネーション設置（20名）、点灯式開催（60名）、撤去（10名）までを行う。 ②点灯式当日は、放課後子ども教室「きたっこ広場」も同時開催され、地域の子どもたちも地域行事に関わり、大人と交流する機会をつくる。  		
実施してよかった点や課題点	・地域だけでなく町内で楽しみにしてくれる人が増えてきているので、メンバーのモチベーションにもなる。若いメンバーも増え、話し合い等も積極的に意見を出したり、動いてくれる姿がとても頼もしく感じる。 ・寒い中での設置作業は重労働であり、準備を手伝ってくれるメンバーに昼食の炊き出しを行うなど少しでも還元できるようにしている。 ・北小児童は、手作り松ぼっくりツリーとメッセージカードを一人暮らしの高齢者約20名のお宅に手分けしてお届けした。早速仏壇に供えてくれたり、お返しにお菓子をくれるなど、大変喜んでくれた。 ・布施地区中学生は点灯式の前後に屋台を出店し、自分たちで作ったかぼちゃスープをふるまった。彼らも地域に貢献できたことが嬉しかったようで、生き生きとした表情をしていた。 ・集う機会が減った地域の人たちにとって、ハンドベル演奏を目標に何回か集まって練習することも、良い交流の場となっている。	助成額	
		50,000円	
		延べ参加者数	
		100名	
ありがとうメッセージ	12年間続けてきた甲斐もあり、認知度が徐々に広がり、今年度はインターネットや雑誌等で取り上げられ、スタッフもさらに準備に力が入りました。地域の人たちで作られる点灯式も、布施らしい温かい雰囲気に参加者にも喜ばれている。他地区から来られた方も、ぜひ参考にしたいと喜んで帰られ、とても嬉しく思う。本当にありがとうございます。	自己評価	
		目標以上の成果	

団体名	山田どっこい会	事業名	地域ふれあい推進事業
実施内容	実施期間：令和6年4月～令和7年3月 実施場所：山田生活改善センター 実施内容： ①毎月誕生日を迎える幼児、小中高生並びに75歳以上の方に、どっこい会会長と区長が自宅を訪問し、メッセージカードとお祝いの花束を届けた。 ②亥の子祭、敬老会を70歳亥上の方を対象に11月初旬に開催し、手作り料理と工夫を凝らした演芸でもてなしました。 ③8月最後の週に夏祭りと呼び、子どもからお年寄りまでの異世代間の交流を行いました。 ④女性陣による味噌作り教室を行いました。 ⑤郷土を愛し、郷土愛を育むための郷土発見事業を行いました。   ▲誕生日の花束プレゼント活動 ▲亥の子祭り 敬老祝賀会		
実施してよかった点や課題点	・ジオパーク巡りには昨年に比べて倍近い方が参加され、事業を楽しみました。	助成額	50,000円
		延べ参加者数	120名
		自己評価	目標どおりの成果
ありがとうメッセージ	共同募金寄付者の方々には、いつもお世話になっております。皆様方のおかげで今年度も事業を行うことが出来ました。心より感謝申し上げます。		

団体名	南方自治会	事業名	南方区防災計画
実施内容	実施期間：令和6年6月～令和7年3月 実施場所：南方集落センター 実施内容： ①南方地区の防災計画として自治会理事8名及び消防班班長と災害時の避難計画について令和6年6月から南方集落センターにて何度か協議を行い避難指示時の自治会としての対応について確認及び協議した。 なぜ避難するの・・・ 台風や強風豪雨などが発生し豪雨のとき、道路の冠水で通行できなくなる。 農山の土砂崩れで家が崩壊する。地震の時は震動が伝わり、道路が割れて 家から出られなくなり孤立します。又、家が震えたりし、火災の発生も考えられ ます。 よって、「命を守るため」避難が通行できるうちに避難しましょう。 どこへ避難するの・・・ 学習センターへ（日曜日の13時以降は広場の避難へ。火曜日の日曜日は休まずでも避難してあり ます。それ以外は無断の避難へ）→ 避難指示が発令された時、 学習センター（南 5-100） 避難指示が発令された時は、速やかに避難を開始してください。 避難の時は何をもって行くの・・・ ① お金（3～4万円）、カギ、メガネ、靴（脱げ履き）など ② 必要最小限の水、お金の小銭を少く ③ 携帯電話（充電済、あれば充電済のバッテリー） ④ 飲料（ミネラルウォーター）、ビニール、スリッパ、毛布、風呂敷（敷）など 階段から避難の準備をしておくこと・・・（大事） ① 階下の方と声を掛け合い避難時の話しをしておきましょう。 避難する時は声を掛け合います。 ② 自宅の戸締りをし、速やかに避難を開始できる準備をしておきましょう。 南方理事会・南方消防隊 ▲避難時の心得		
実施してよ かった点 や課題点	・災害時には何が必要か、突発的な要因も考えながら進めていかなければならないと思います。 ・避難困難者も随時確認しながら人命を第一に今後も進めていきたいと思っています。		助成額
			50,000円
			延べ参加者数
ありがとう メッセージ	水嚢、備蓄水・備蓄食料と緊急時における住民の補助となる備蓄品の補充ができ感謝しています。実際に使うことがないことが一番ですが、いざという時の対応を今後も考えていきたいと思っています。今後も自治会として地区住民の協力ができればと思います。ありがとうございました。		28名
			自己評価
			目標どおりの成果

団体名	青年学級交流会	事業名	青年学級交流事業
実施内容	実施期間：令和7年3月8日 実施場所：みんなの作業所 実施内容： ①5年振りにみんなの作業所利用者、仁万の里活動班、在宅・GH利用者など総勢108名の参加で青年学級交流会を開催することができました。 当日は利用者さんが事前に希望した活動に分かれ、スポーツはモルック、フリースロー、バトミントン対決で盛り上がり、創作活動はうちわ、タンブラー、キーホルダーにパソコンから好きなイラストをプリントし貼り付けたり布バッグに専用のクレヨンで絵を描くなど各々が素敵な作品を作りました。調理活動はアップルパイ、チョコパイ作りをし、美味しそうなパイが出来上がっていました。映画鑑賞では、室内を暗くしポップコーンを用意するなど映画館さながらの雰囲気をだしました。ドライブ＆散策ではゲゲの鬼太郎像を回りました。集合写真を撮り、プリントアウトした写真を記念に持ち帰っていただきました。テレビゲームは任天堂switchのゲームソフトで対決して盛り上がっていました。コントローラーの使い方やゲームの進め方がわからなかったりする方には他の参加者が教えてあげている姿も垣間見ることができました。午後からは景品を賭けた席対抗ゲームを行い、○×クイズ・イントロクイズではチームで相談や談笑する場面も多く、大いに盛り上がりました。		
	 ▲交流会の様子		
実施してよかった点や課題点	・障がいがある方にとって余暇活動というのは喜び、気分転換、コミュニケーションの向上に繋がり有意義な時間となるものだとして改めて認識した日でした。		助成額
			50,000円
			延べ参加者数
			108名
ありがとうメッセージ	青年学級交流会とは、障がいのある方にとって余暇活動を目的としています。スポーツ、テレビゲーム、映画鑑賞、創作活動、調理活動、ドライブ＆散策の中から個々が希望した活動を行い、有意義な時間を過ごせることができました。共同募金にご協力いただいた皆様のおかげです。ありがとうございました。		自己評価
			目標どおりの成果

団体名	島根県断酒新生会 隠岐支部	事業名	酒害者支援・予防事業
実施内容	実施期間：令和6年4月～令和7年3月 実施場所：文化会館、役場五箇支所、太陽、都万中里集会所 実施内容： ①断酒例会 開催回数月5回×12カ月で年間60回実施。 会場は西郷地区、文化会館・太陽。五箇地区、役場五箇支所。都万地区、中里集会所にて実施。保健所、保健師、役場保健師、民生委員、島根大学学生、施設職員、断酒会会員、家族等が参加。 ②酒害相談 保健所主催で計画されたが島前地区2回、島後地区2回、相談申し込みなく中止となる。 ③「アルコール・タバコ部会」が保健所であり、参加。 ④「アルコール健康障害対策連絡会」は本年度は開催しませんでした。 ⑤社会貢献活動 例会会場の中里集会所に年2回花苗をプランターに植え管理しました。 ⑥研修会等参加 6月浜田合同庁舎にて一日特別研修会、9月山陰断酒学校2泊3日、家族会に1回、計3回参加しました。 ⑦調理実習を通じた生活機能訓練 グループホーム生活・独居等で他人との交流が持ちにくい中、1回実施。犬尾仁先生、保健所、保健師2名の参加もあり、にぎやかでした。		
	  ▲例会の様子 ▲プランターへの花植え		
実施してよかった点や課題点	・会員2名、オブザーバー3名が継続して断酒例会に出ることができた。 ・例会以外で電話がかかってきて相談をうけたり、信頼関係ができていると思われる。 ・課題としてはオブザーバー参加の方が会員になれないこと。	助成額	50,000円
		延べ参加者数	294名
ありがとうメッセージ	今年もおかげさまで一年間活動ができました。 いただいたお金で例会場の利用料金等に使用させていただきました。 ありがとうございました。	自己評価	目標どおりの成果

団体名	隠岐地区里母のつどい	事業名	勉強会・交流会
実施内容	実施期間：令和6年4月～令和7年3月 実施場所：ホテル海音里（ログハウス）、及び京見屋分店（風待ちoffice） 実施内容： ①情報交換 子育てに関して気になっていることや疑問に思っていること等を話し合った。 適宜児童相談所職員に相談した。 ②交流会 時期：8月 場所：ホテル海音里 参加者：8名 講師に島根県里親会（松江地区）の会長を招き、里親や里子皆で調理や食事などを楽しみながら交流を図った。一人ひとりが役割を持ち、活動に参加することができた。 ③ミニお話し会 時期：10月、2月 場所：京見屋分店（風待ちoffice） 参加者：20名 子どもの身体、こころ、里親として必要な知識を身に着ける場となった。2月には町内で活動する（一社）アナザーステージの渡部代表を招いて、ミニお話し会を行った。 ▲ミニお話し会の様子		
実施してよかった点や課題点	- 子ども達の年齢層が中高校生となる中、成長に合わせた企画ができ良かった。少しずつ協力の輪が広がりつつあります。 - 児童相談所はもとより他機関の方々と連携しながら引き続き里親制度の周知や会員の募集に務めていきたい。	助成額	
		50,000円	
		延べ参加者数	
ありがとうメッセージ	里親たちの心の拠りどころとなる会が開け、里子たちの良い経験の場となったことに感謝申し上げます。	自己評価	
		目標どおりの成果	

団体名	緩和ケアサロン隠岐たんぽぽ	事業名	がん体験者とその家族の交流
実施内容	実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日 実施場所：隠岐病院 講堂 実施内容： ①毎月2回1日と16日に2時間程度実施。 がん患者としての悩み、その身内を支える家族の苦悩等交流してきました。  ▲サロンで使用した記事		
実施してよかった点や課題点	・ 今年度は再度がんにかかった人もあり、サロンで話すことで気持ちも前向きになれ、サロンの存在が大きかったと感じていました。	助成額	
		50,000円	
		延べ参加者数	
ありがとうメッセージ	助成金もあり、充実した活動が実施できました。共同募金にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。	自己評価	
		目標以上の成果	

団体名	いその香	事業名	配食を通じたつながり活動
実施内容	実施期間：令和6年5月～令和7年3月（7～10月は休み） 対象者：主に高齢者で食事の準備が困難で配食を希望される方（津戸区を中心とする都万地区内） 実施内容： ①月2～3回の頻度で団体スタッフ、地区のボランティアで手作り弁当を配布。 ②弁当配布にあわせた声かけ運動。 ※物価の高騰に伴い弁当料金の見直しを行い1個500円で提供した。津戸区外の方からも多くの配食希望があった。都万地区内を中心に活動を行うことができた。   ▲ 弁当作成の様子		
実施してよかった点や課題点	・約5年活動を継続することができ、地域に定着した活動になってきました。毎回、皆さんが弁当を心待ちにして喜んでくださるので、団体の私達も元気をいただき、とても励みになっています。物価の高騰により影響を受けておりますが、工夫を凝らしながら活動を続けていきたいと思っています。		助成額
			50,000円
			延べ参加者数
ありがとうメッセージ	配食を通じて、地域の方々とのつながりがより深めることができ、たくさんの方々に喜んでいただきました。共同募金にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。		自己評価
			目標どおりの成果

団体名	隠岐の島町婦人会（新規）	事業名	地域の居場所「みんなの食堂」の開催	
実施内容	実施期間：令和6年4月～令和7年3月 実施場所：隠岐島文化会館 実施内容： ①子ども食堂「みんなの食堂」を。毎月1回（令和7年1月以外）、隠岐島文化会館で実施しました。独自にチラシを作成して配布したり、町や公民館の広報誌に記載して参加を呼びかけました。子どもの参加や親子連れでの参加など、参加者数は延べ260人となりました。 児童と関わる仕事を目指す高校生のボランティアも参加しており、延べ約80名となりました。子ども達、お年寄り、地域の方々の集いの場となっています。			
	  ▲みんなの食堂の様子			
実施してよかった点や課題点	・みんなの食堂を始めて丸3年が経ちました。婦人会会員も1年1年年を重ねますが、子どものため、地域のために活動を続けています。続く物価高騰により、頭を悩ませていますが様々な工夫を凝らしながら活動を続けていきます。		助成額	
			50,000円	
			延べ参加者数	
			260名	
ありがとうメッセージ	共同募金のおかげで活動が続けられます。ありがとうございました。		自己評価	
			目標どおりの成果	

実施内容	【実施団体】 17団体（自治会区：16団体、公民館分館：1団体） 【活動内容】 申請事業を実施：17団体 敬老会：13 異世代交流：1 手作り料理の配食活動：3 申請事業を中止：9団体   ▲西郷中町町内連合会 ▲北方区（記念品の配布）				
評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="323 1093 1109 1193" rowspan="3"> ・感染症の予防として敬老会を中止し、弁当折りや記念品等の配布に切り替えた団体もあったが、規制緩和を受けて敬老会を開催する団体も多かった。 </td><td data-bbox="1109 1093 1390 1193">助成額</td></tr> <tr> <td data-bbox="1109 1193 1390 1288">620,200円</td></tr> <tr> <td data-bbox="1109 1288 1390 1384">延べ参加者数</td></tr> </table>	・感染症の予防として敬老会を中止し、弁当折りや記念品等の配布に切り替えた団体もあったが、規制緩和を受けて敬老会を開催する団体も多かった。	助成額	620,200円	延べ参加者数
・感染症の予防として敬老会を中止し、弁当折りや記念品等の配布に切り替えた団体もあったが、規制緩和を受けて敬老会を開催する団体も多かった。	助成額				
	620,200円				
	延べ参加者数				
ありがとうメッセージ	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="323 1429 1109 1749"> 助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 少子高齢化が進む中、若い世代の方に祝っていただき、また、一年振りに同世代の方と再開することができ、楽しいひと時を過ごすことができました。助成いただきありがとうございました。 </td><td data-bbox="1109 1429 1390 1749"> 17団体/878名 </td></tr> </table>	助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 少子高齢化が進む中、若い世代の方に祝っていただき、また、一年振りに同世代の方と再開することができ、楽しいひと時を過ごすことができました。助成いただきありがとうございました。	17団体/878名		
助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 少子高齢化が進む中、若い世代の方に祝っていただき、また、一年振りに同世代の方と再開することができ、楽しいひと時を過ごすことができました。助成いただきありがとうございました。	17団体/878名				

実施内容	【実施団体】 37団体 【活動内容】 ①年間活動回数：561回 ②各サロンによって毎月実施する活動は様々 主な内容は、茶話会や会食、健康体操、バスハイク、手芸、各種講座等   ▲朝日ヶ丘よらあや会 ▲津戸楽笑会				
評価	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="325 1104 1109 1189" rowspan="3"> ・多くのサロン団体が集合型で活動を行うことができた。 年を重ね、運転免許証を返納する代表者や世話人がいるサロンが見受けられ、今後の活動が心配される。 </td><td data-bbox="1109 1104 1380 1189" style="background-color: yellow; text-align: center;">助成額</td></tr> <tr> <td data-bbox="1109 1189 1380 1274" style="text-align: center;">925,000円</td></tr> <tr> <td data-bbox="1109 1274 1380 1359" style="background-color: yellow; text-align: center;">延べ助成数</td></tr> </table>	・多くのサロン団体が集合型で活動を行うことができた。 年を重ね、運転免許証を返納する代表者や世話人がいるサロンが見受けられ、今後の活動が心配される。	助成額	925,000円	延べ助成数
・多くのサロン団体が集合型で活動を行うことができた。 年を重ね、運転免許証を返納する代表者や世話人がいるサロンが見受けられ、今後の活動が心配される。	助成額				
	925,000円				
	延べ助成数				
ありがとうメッセージ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="325 1435 1109 1724"> 助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 助成金のおかげで紅葉狩りなどの特別な活動を行うことができ、たくさんの方々に喜んでいただきました。ありがとうございました。 </td><td data-bbox="1109 1435 1380 1724" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> 37団体/6077名 </td></tr> </table>	助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 助成金のおかげで紅葉狩りなどの特別な活動を行うことができ、たくさんの方々に喜んでいただきました。ありがとうございました。	37団体/6077名		
助成団体からのありがとうメッセージ（抜粋） 助成金のおかげで紅葉狩りなどの特別な活動を行うことができ、たくさんの方々に喜んでいただきました。ありがとうございました。	37団体/6077名				

実施内容	①救急医療情報シートの普及、啓発 自治会区長と民生児童委員宛てに協力依頼文を送付し、10地区35名の新規申請があった。民生児童委員からの問い合わせも多くあり、地域内での見守り活動の一助となった。 ②ボランティア入門講座の開催 ボランティア活動のきっかけづくりとして、令和6年10月22日(火)「病院ボランティアあかり」代表の脇さんを講師に招きボランティアの魅力や心得、活動内容についてお話しいただいた。10名の参加者があり、脇さんがボランティアで行なっている絵手紙体験も行った。 ③災害ボランティア講座の開催 令和6年11月20日(水)隠岐の島町と共催し、多くの災害現場で復興支援に尽力する鳥取県の日野ボランティアネットワークより講師を招き講座を開催した。23名の参加があり、参加者から多くの意見、感想があった。 ④広報紙等による暮らしに役立つ情報提供 町内の福祉活動情報等を掲載した「社協通信」を年4回、全戸配布にて住民にお届けした。また、必要に応じて「くらしのべんり帳」を配布した。  ▲ ボランティア入門講座  ▲ 災害ボランティア講座
評価	・救急医療情報シートの活用により、生活に不安を抱える方々の安心安全の確保のみならず、地縁組織を通じた地域での見守り、つながり活動につながった。また、各種講座の開催により、地域で活躍していただけるような福祉を支える人づくりにもつながった。 ・併せて、社協通信やくらしのべんり帳の配付を通じて、情報が届きにくい世帯の方々にも各種制度やサービスの情報を届けることができた。 助成額
ありがとうメッセージ	皆さまから頂いた募金を有効に活用させて頂き、住みよい地域づくりを推進することが出来ました。ありがとうございました。 309, 676円